

平成29年度 後期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 自己評価委員会

自己点検評価専門部会

1 はじめに

本報告書は、平成29年度 後期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。

実施に際しては、混乱やトラブルがあったという報告はなく、評価そのものは順調に行われたように見える。しかし、実際に授業評価アンケートの回収は前年度委員会にて行われており、アンケート提出も100%の科目数ではない状況での引継ぎであった。また、教員の自己点検レポートの提出も100%ではなく、非常勤講師も含め、回収率100%を目指すための手立てが必要と思われる。授業評価の必要性の認識は学内に定着しつつあるものの、授業評価の必要性と大学教員としての義務や啓蒙という説明は、一部ではあるが教員の入れ替わりもあるために、数年に1度は必要なのではないかとと思われる。

また、少人数クラスでの授業評価の在り方については、平成24年度より受講者2名以下（受講者なし、受講者1名、受講者2名）の場合は、提出は極力求めるが強制はしないという方針で調査用紙の回収を実施している。教員と学生とがほぼマンツーマンで授業を行うという特殊な形態では、学生個人が特定されやすく、学生に不利益を生じてはならないことや、他の授業と同様の授業評価が適切かどうかを問う声が委員会に寄せられたためである。

現委員会としては、学生が評価の仕組みをよく理解したうえで、実施協力の申し出があった場合は、実施すべきであると判断している。授業評価を必ずしも必要としない理由は、学生1名以下という特殊な状況や授業の実施形態の多様性に、量的尺度のみの現行の方法が対応できておらず、学生に不利益をもたらす恐れがあるためである。

この問題を回避する方法としては、専攻科特別研究をはじめとする必修の少人数クラスは、個々の授業単位ではなく、同名の授業全部をひとまとめにした評価を行うなどの対応が考えられる。また、単独に実施している少人数クラスでは、質的な評価を採り入れる等の改善方法も検討すべきであろう。いずれにしても、授業と名のつくものであればすべて、学生からの評価を受けることで改善をはかることが原則であることは言うまでもない。いくつかの改善策を検討して、評価結果のWEB公開の実施の検討とあわせて、委員会に課題として申し送りたいと考える。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの2部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

集計結果は、全体のデータをまとめるとともに、個々の授業別結果（サンプルは別紙2）を授業担当教員にもどし、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。各授業の各項目について、大学全体の5段階の平均値が示されており、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出（サンプルは別紙3）する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを400字程度のレポー

トにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の **WEB** で公開している。

3 全体の集計結果

平成 29 年後期学生による授業評価 講評

平成 29 年度後期の学生による授業評価結果の概要と講評を行い、授業改善のための基礎資料とする。

構成は、下記の通りである。

- 1 評価結果の概要と、特徴的であると考えられるポイントを指摘した。
- 2 評価結果の全体を表にまとめた。
- 3 設問ごとに各選択肢の選択率を円グラフで示した。

1 概要

平成 29 年度後期の授業評価の結果としては、学生の出席や意欲、予習復習が、3分の2程度しか積極的に取り組めておらず、まだ改善の余地があると言える。

教員の取り組みとしては、創意工夫や理解度や対応に対して 85%程度の学生が満足している好評価であると思われる。比較的良くなかったのは授業時間で、カリキュラムが混んでいるので時間が足りないのかもしれない。学生にとってほぼ 100%が満足していると回答できるように改善していきたいと思う。

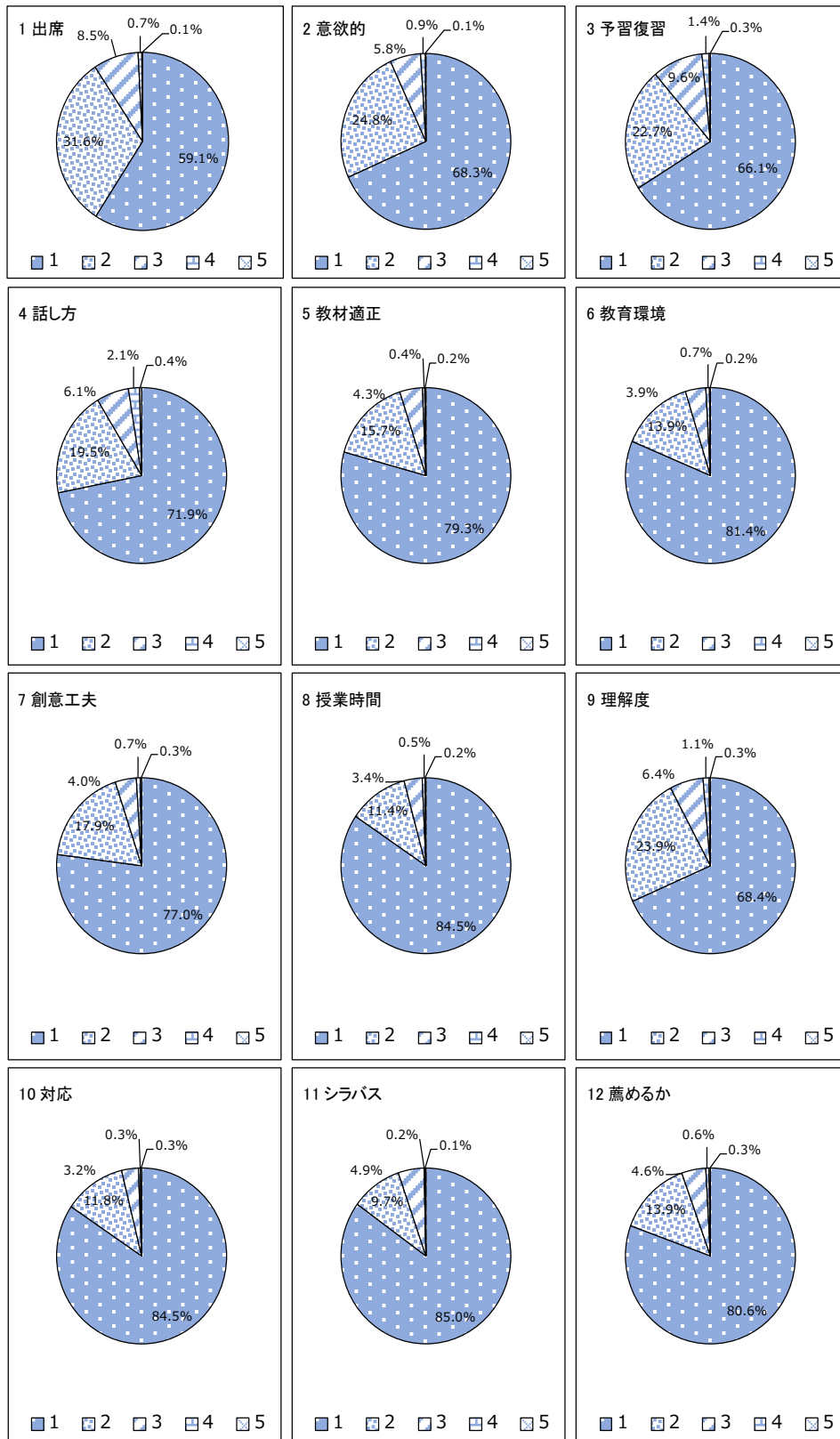
2 評価結果全体のまとめ（評価は 5 段階で行なわれ、1 が最も高く 5 が最も低い。）

まとめ

調査票件数： 2296

選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 話し方	5 教材適正	6 教育環境	7 創意工夫	8 授業時間	9 理解度	10 対応	11 シラバス	12 薦めるか
1	1357	1569	1518	1650	1821	1868	1769	1940	1570	1939	1952	1843
2	725	570	521	448	361	319	412	261	548	270	223	319
3	194	134	220	141	99	89	92	79	146	73	113	105
4	16	21	31	48	10	16	17	12	26	8	5	14
5	3	2	6	9	5	4	6	4	6	6	3	6
合計	2295	2296	2296	2296	2296	2296	2296	2296	2296	2296	2296	2287
平均値	1.51	1.40	1.47	1.40	1.27	1.24	1.29	1.21	1.41	1.20	1.21	1.26

3 設問ごとの選択肢の選択率（1点が最高評価、3点が中間評価、5点が最低評価）



4 対象となる授業一覧

平成 29 年度後期

授業番号	講義名	担当者	学科
1001	文学	安達	保育・服飾美術
1004	生命科学	高橋 (和)	保育
1005	生命科学	高橋 (和)	服飾美術
1006	心理学	門田	保育・服飾美術
1010	情報機器の操作Ⅱ	大原	保育
1013	英語Ⅱ (コミュニケーション)	安達	保育
1014	英語Ⅱ (コミュニケーション)	安達	服飾美術
1016	英語Ⅳ	安達	保育・服飾美術
1018	健康科学概論 (1/4)	及川	保育
1019	スポーツ (3/4)	及川	保育
1021	保育原理Ⅱ	土井	保育
1026	社会的養護Ⅰ	安形	保育
1029	発達心理学Ⅱ	門田	保育
1030	教育心理学	寺寄	保育
1031	幼児臨床心理学	門田	保育
1032	子どもの保健Ⅰ	平岡	保育
1033	子どもの保健Ⅱ	平岡	保育
1035	家庭支援論	松浦・門田	保育
1037	保育内容の研究・健康(1)	及川	保育
1038	保育内容の研究・健康(2)	及川	保育
1044	保育内容の研究・表現Ⅱ(2)	金山	保育
1045	保育内容の研究・表現Ⅲ	溝手	保育
1051	保育相談支援	眞次	保育
1052	音楽Ⅰ(1) 別府	別府	保育
1053	音楽Ⅰ(1) 進賀	進賀	保育

授業番号	講義名	担当者	学科
1054	音楽 I (1) 高須	高須	保育
1055	音楽 I (1) 中田	中田	保育
1056	音楽 I (1) 山	山	保育
1057	音楽 I (1) 田中	田中	保育
1058	音楽 I (2) 別府	別府	保育
1059	音楽 I (2) 進賀	進賀	保育
1060	音楽 I (2) 高須	高須	保育
1061	音楽 I (2) 中田	中田	保育
1062	音楽 I (2) 三川	三川	保育
1063	音楽 I (2) 青木	青木	保育
1064	音楽 I (2) 田中	田中	保育
1065	音楽 I (2) 長岡	長岡	保育
1066	音楽 I (2) 山	山	保育
1067	音楽 II (1)	三川	保育
1069	音楽 III	三川	保育
1071	図画工作(2)	金山	保育
1073	幼児体育(2)	及川	保育
1074	児童文化	溝手	保育
1076	保育実習 I (2)	安形・平岡	保育
1081	教職論	土井	保育
1083	幼児教育課程論	木戸	保育
1084	教育実習	土井・及川	保育
1086	保育・教職実践演習	及川・土井・木戸	保育
1087	総合演習 安達	安達	保育
1088	総合演習 金山	金山	保育
1089	総合演習 溝手	溝手	保育
1090	総合演習 安形	安形	保育
1091	総合演習 木戸	木戸	保育
1092	総合演習 土井	土井	保育
1093	総合演習 眞次	眞次	保育

授業番号	講義名	担当者	学科
1094	総合演習 及川	及川	保育
1095	総合演習 門田	門田	保育
1096	総合演習 三川	三川	保育
1097	総合演習 平岡	平岡	保育
1098	総合演習 別府	別府	保育
2000	教育学	土井	服飾美術
2003	情報処理演習Ⅱ	大原	服飾美術
2007	フランス語Ⅱ	石井	服飾美術
2008	健康科学概論（1／4）	渡辺	服飾美術
2009	スポーツ（3／4）	渡辺	服飾美術
2011	アパレル総論	大原・唐澤 他	服飾美術
2016	服飾造形実習Ⅱ	太田	服飾美術
2017	服飾造形実習Ⅲ	福村	服飾美術
2018	服飾造形実習Ⅳ	福村	服飾美術
2019	パターンメイキング(CAD)Ⅰ 太田	太田	服飾美術
2029	服飾材料学	道明	服飾美術
2030	服飾材料学実験	道明	服飾美術
2032	服飾人間環境学実験	佐藤	服飾美術
2036	マーケティング論	新井	服飾美術
2037	消費生活論	新井	服飾美術
2039	マーケティング戦略論	新井	服飾美術
2041	地域経済基礎	唐澤	服飾美術
2042	繊維産業論	唐澤	服飾美術
2044	地域まちづくり演習	唐澤	服飾美術
2045	服飾デザイン論	趙	服飾美術
2048	モードデッサンⅡ	趙	服飾美術
2053	ファッションクリエイション演習	上村	服飾美術
2054	手工芸	高橋（敏）	服飾美術
2055	美術史	守田	服飾美術
2058	染織Ⅱ	田中	服飾美術

授業番号	講義名	担当者	学科
2059	染色	田中	服飾美術
2062	ビジュアルデザインⅢ	小寺	服飾美術
2066	表現演習Ⅰ	松内	服飾美術
2068	表現演習Ⅲ	松内	服飾美術
2070	ベーシックデザインⅡ	松内	服飾美術
2071	卒業研究 大原	大原	服飾美術
2072	卒業研究 上村	上村	服飾美術
2073	卒業研究 佐藤	佐藤	服飾美術
2074	卒業研究 田中	田中	服飾美術
2075	卒業研究 趙	趙	服飾美術
2076	卒業研究 福村	福村	服飾美術
2077	卒業研究 松内	松内	服飾美術
2078	卒業研究 太田	太田	服飾美術
2079	卒業研究 道明	道明	服飾美術
2080	卒業研究 唐澤	唐澤	服飾美術
3002	スポーツ 2	及川	保育臨床専攻
3003	生活福祉論	安形	保育臨床専攻・服飾美術専攻
3004	子どもの人権教育論	土井	保育臨床専攻
3006	教育映像表現演習	安達	保育臨床専攻
3008	教育心理学研究法	門田	保育臨床専攻
3009	生理心理学	門田	保育臨床専攻
3010	心理学実験	門田	保育臨床専攻
3011	児童文化学特論 1	溝手	保育臨床専攻
3013	音楽実技内容研究 1	別府・江島	保育臨床専攻
3014	音楽実技内容研究 2	三川	保育臨床専攻
3015	幼児の運動遊び演習	及川	保育臨床専攻
3017	比較教育特論	土井	保育臨床専攻
3021	学童保育実践論	中山	保育臨床専攻
3022	音楽教育指導法	別府	保育臨床専攻
3023	子どもと家族の保育相談	平岡	保育臨床専攻

授業番号	講義名	担当者	学科
3025	幼児健康支援学演習	及川	保育臨床専攻
3026	専門英語文献講読	安達	保育臨床専攻
3027	幼児の環境デザイン演習	金山	保育臨床専攻
3032	保育内容特別演習（劇的表現2）	溝手	保育臨床専攻
3033	親子支援演習Ⅰ	木戸	保育臨床専攻
3034	親子支援演習Ⅱ	木戸	保育臨床専攻
3035	特別研究 安達	安達	保育臨床専攻
3036	特別研究 金山	金山	保育臨床専攻
3037	特別研究 溝手	溝手	保育臨床専攻
3038	特別研究 安形	安形	保育臨床専攻
3039	特別研究 木戸	木戸	保育臨床専攻
3040	特別研究 土井	土井	保育臨床専攻
3041	特別研究 眞次	眞次	保育臨床専攻
3042	特別研究 及川	及川	保育臨床専攻
3043	特別研究 門田	門田	保育臨床専攻
3044	特別研究 三川	三川	保育臨床専攻
3045	特別研究 平岡	平岡	保育臨床専攻
3046	特別研究 別府	別府	保育臨床専攻
3047	子育て支援体験実習	安形	保育臨床専攻
3050	乳児保育特論2	平岡	保育臨床専攻
3051	ASD教育特論	眞次	保育臨床専攻
3052	ADHD・AS臨床実習	眞次	保育臨床専攻
3054	障がい者の心理・生理・病理	眞次	保育臨床専攻
4000	色彩学	小田	服飾美術専攻
4005	ドローイングⅡ	野村	服飾美術専攻
4007	ビジュアルデザイン演習	ウォルトン	服飾美術専攻
4008	立体制作Ⅰ	松内	服飾美術専攻・保育臨床専攻
4014	生活文化環境論	大原 他	服飾美術専攻
4015	生活情報論	上村	服飾美術専攻
4016	ファッションデザイン論	趙	服飾美術専攻

授業番号	講義名	担当者	学科
4021	服飾造形実技Ⅰ	福村	服飾美術専攻
4023	服飾造形実技Ⅲ	福村	服飾美術専攻
4024	手工芸論	高橋（敏）	服飾美術専攻
4029	工芸染織	田中	服飾美術専攻
4032	被服生理学	佐藤	服飾美術専攻
4033	被服生理学実験	佐藤	服飾美術専攻
4034	染色実習	田中	服飾美術専攻
4035	アパレルコンピュータ論	道明	服飾美術専攻
4041	ライフプロダクト演習Ⅰ	上村	服飾美術専攻
4043	アパレル産業論	新井	服飾美術専攻
4046	マーケティングコミュニケーション	新井	服飾美術専攻
4049	特別研究 大原	大原	服飾美術専攻
4050	特別研究 上村	上村	服飾美術専攻
4051	特別研究 佐藤	佐藤	服飾美術専攻
4052	特別研究 田中	田中	服飾美術専攻
4053	特別研究 趙	趙	服飾美術専攻
4054	特別研究 福村	福村	服飾美術専攻
4055	特別研究 松内	松内	服飾美術専攻
4056	特別研究 太田	太田	服飾美術専攻
4057	特別研究 道明	道明	服飾美術専攻
4058	特別研究 唐澤	唐澤	服飾美術専攻